



志高く!

校訓 学び 磨き
思いやる

合い言葉
「麻生中ABCD+」

◆麻生中学校だより◆
Tel 80-8070
Fax 77-0840
http://www.sopia.or.jp/n-asojh/
行方市南327の3
令和元年10月31日発行
令和元年度 第16号

◆駅伝選手が残してくれた60の名言!◆

今年度の県東地区駅伝競走大会が終了した数日後、体育主任の上田先生から、選手たちの感想や反省を綴ったものを手渡されました。読み進めていくうちに、どの生徒の作文も大変素晴らしい内容であるため、その一部分を抜き出してみました。駅伝を通して、子供たちが感じ取ったことは、実体験から得た「名言」といえるのではないのでしょうか。

- 1 今年は、今まで以上にうれしい思いも悔しい思いも、皆をまとめることの大変さも体験でき、自分の中で成長を感じた。
- 2 選手では無い人も団結して皆で闘う気持ちが、一番大切だと思った。
- 3 夏休みの練習は走るのが嫌になりそうなくらい暑かったが、雰囲気良かった為、逆に暑さを楽しんで頑張ることができた。
- 4 大会当日の朝、自分に集中過ぎてしまい、周りを見ることができず、指示するのが遅れてしまい、雰囲気が悪くなる場面があった。しかし、女子の応援をしながら雰囲気がすごく良くなっていった。
- 5 夏休みの練習では、部活との両立で途中で抜けてしまい、雰囲気を壊してしまわないかと不安であったが、メンバーから、「部活頑張っね！」と声をかけられ、つかれた体にムチを打つエネルギーをもらった。
- 6 3年生になり初めて参加した。足がそこまで速くなかったが、チームの熱意で乗り切ることができた。
- 7 人は、3ヶ月でこんなにも成長できるんだなと思った。
- 8 県大会に行けるのは、皆のサポートと先生方の考えた練習メニューのお陰。感謝!
- 9 選手になれなくても、役に立てなくても途中で止めずに続けてきて本当によかった。
- 10 県大会では、1、2年生に良い景色を見せられるよう、これからの練習も頑張っていく。
- 11 まず、やり切ったと思った。今では、これまでの練習が懐かしくさえ思える。
- 12 けがをして、「これで駅伝に出られないな」と考えた時、「俺は本当に駅伝が好きになったんだな」と思った。
- 13 練習の中で、甘えている部分があった。今後、日ごろの生活から意識していく。
- 14 多い人数で練習すればするほど、隣や頑張っている姿に刺激され、簡単に諦めなくなる。
- 15 一番感じたこと。それは続けることに意味があるということ。
- 16 先生は、一緒に走ってくれ、辛いこと、苦しいことを共感してくれた。
- 17 悔し涙を流していた先輩の姿を忘れること無く、来年につなげる。
- 18 自己ベストを出すことができた。それは、今までの努力が報われた瞬間だった。
- 19 学校の練習の他にも、放課後、自宅周辺など走っている人を見て、駅伝に対する強い思いを感じた。
- 20 駅伝は走るときは個人だが、チームという意識や重みの方が大きいと感じた。
- 21 良い結果は残せなかったが、メンバーが得られたものはあると思うし、私も少しだけかもしれないが成長できた。
- 22 他校のアップは、だれが選手でだれが応援なのか区別がつかないほど一生懸命やっていた。まずは、そういう所から学ばなくてはならないと気付いた。
- 23 諦めないでやっていたら、ちょっとだけ、みんなについて行けるようになった。
- 24 諦めないこと、積極的にやること、感謝の気持ちを忘れないことなど、駅伝からは、今後につながることをいろいろと教わった。
- 25 来年の陸上や駅伝では、勝ちたい気持ちを声に出してしっかりと伝えたい。
- 26 県大会本番、誰が走っても、感謝の気持ちを忘れず、諦めない強い走りをするのが大事。
- 27 一層集中して練習に取り組み、自己練習も更に増やし、満足できる結果を残したい。
- 28 選手として良い結果を出すには、普段の練習や学校生活における α が必要だ。
- 29 自分がどうすれば全力で走ることができるのかと、集中して考えたり取り組んだりしている3年生にすごさを感じた。
- 30 自分が選手になる可能性はすごく低い。それでも頑張り、これからの部活や生活につなげていく。
- 31 自覚と感謝の気持ちを大切に、頑張っていく。
- 32 練習には、ほぼ休まず参加できたし、ライバルと競い合う楽しさも分かった。
- 33 自分は走らないかもしれないが、メンバーとしての自覚を大切にしておく。
- 34 来年はけがや病気に気を付けて、また候補選手に選ばれるよう、頑張りたい。
- 35 県大会では、今回の反省を生かし、競技中以外でも選手をサポートできるようにする。
- 36 四ヶ月間、練習に取り組んだことからくる達成感がスゴイ。
- 37 全力で走っている人が目の前を通過すると、自然と声が出た。
- 38 この悔しさを次につなげ、来年も絶対に選手になれるように頑張る。
- 39 これまで一緒に練習してきた、ここで心が一つになれたことを実感できた。
- 40 選手にはなれなかったが、たくさんの人と走ってきたことを今後に精一杯生かしていく。
- 41 駅伝からは、走るだけでなく、色々な事を学べた。それを今後の生活に生かし、一つ一つのことに真剣に取り組んで行く。
- 42 普段の生活や態度から、駅伝に限らず、結果は自ずと決まってくるのかなと思った。
- 43 呼吸の仕方、走り方、参考になることを、自分に生かしていきたい。
- 44 今より早く走れるようになれば、長距離走の楽しさがより分かると思う。
- 45 全てが悪くて24位になったのではなく、良いところもあった24位なので誇りに思いたい。
- 46 3年生のお陰で、1年生、2年生はここまでついてこられた。
- 47 運動は余り得意ではないが、人一倍頑張ってみんなについて行けるようにしたい。
- 48 もっと応援したかった。もっとサポートすべきだった。そして、もっと速くなりたいと思った。
- 49 一人一人が選手になろうと一生懸命練習に取り組む、楽しく練習するときは、皆で楽しむと言うように、メリハリのあるよい雰囲気で練習できた。
- 50 5位というすごい結果で県大会出場! やっぱ先輩たちはすごいと思った。
- 51 辛くて列から遅れたとき、3年生が、「あと少し!」と声をかけてくれたお陰で、初めて先頭集団でゴールすることができた。人を応援することの大切さ、皆で試走に出かける意味がよく分かった。
- 52 来年も絶対選手に選ばれ、みんなと切磋琢磨し、今年のように良い思い出をもって学校に帰ってきたい。
- 53 一人では無く協力しないと勝てない。これからは、協力して物事を成すことに努める。
- 54 残念ながら、ゴールの瞬間を見ることはできなかったが、みんなの雰囲気で良い結果であることがすぐに分かった。
- 55 選手としての緊張や不安はあったが、周りの応援やサポートのお陰で、もらったタスキを一つ順位を上げて渡せた。
- 56 今日から毎日走る。朝や学校が終わって帰ってからも走ることを決めた。みんなの倍走って、更に速くなる。
- 57 「負けてもいいから一つ順位を上げよう」という積極性をもって取り組むということを中心に置いて、日々の練習に励む。
- 58 県大会は、練習から必死で頑張り、反省点である応援ではリベンジできるように頑張る。
- 59 努力をすることで何かが変わることを、人は応援されると頑張れることを改めて気付かされた。
- 60 駅伝は、チームでタスキをつなぐ競技。一人でも気持ちが折れたら全体に関わる。その気持ちが本当に強かった。



